

2004年6月30日

札幌市中央区北9条西15丁目28番地196  
株式会社ソフトフロント  
代表取締役社長 村田 利文  
(大阪証券取引所 ニッポン・ニュー・マーケット  
- 「ヘラクレス」証券コード番号:2321)

**ソフトフロント、全国の上場企業として初めて、  
三井住友銀行の成長性評価型融資制度「SMBC「V ファンド」」の適用を受ける  
～ 技術・ビジネスモデルを重視した審査で成長性を高く評価～**

株式会社ソフトフロント(本社 札幌市、代表取締役社長 村田利文 以下ソフトフロント)は、この度、全国の上場企業として初めて、株式会社三井住友銀行(本店 東京都千代田区、頭取 西川善文、以下三井住友銀行)が2004年4月より取扱いを開始した成長性評価型融資制度「SMBC「V ファンド」」の適用を受けることを決定いたしました。

ソフトフロントは、現在主力事業として「SIP パートナープログラム」事業を推進しております。この「SIP パートナープログラム」事業では、ソフトフロントがこれまで培ってきた SIP(\*1)/VoIP(\*2)技術とノウハウを、メーカーやシステム・インテグレーターなどのパートナー企業に対して、ソフトウェア開発環境の製品として提供すると共に、同開発環境に対する技術支援、関連する受託開発・コンサルテーションを行っています。

今回の SMBC「V ファンド」は、三井住友銀行がベンチャー企業向けに開始した融資制度であり、「財務評価」、「成長性評価」、「経営能力評価」などを行い、企業の成長性を総合的に審査した上で、適用の可否を判断するものです。この内、「成長性の評価」は、三井住友銀行が提携している外部の技術・ビジネスモデル評価機関の評価に基づいて実施されており、ソフトフロントが持つ SIP/VoIP 技術とノウハウなどが、三井住友銀行をはじめ、第三者の評価機関からも高い評価を受けたと言えます。

ソフトフロントは、この度の「SMBC「V ファンド」」による資金を、今後の「SIP パートナープログラム」事業拡大に充当する予定であり、また、併せてこの度の企業の成長性に関する評価を今後の大きな契機として、ますます「SIP パートナープログラム」事業の拡大に邁進していく所存です。

**ご参考**

(\*1) SIP (Session Initiation Protocol)

IP 電話、ビデオ会議などを実現するプロトコル(RFC3261)。テキストベースのためシンプルで拡張性が高いことから、IP 電話の標準的なプロトコルとして主流となりつつある。

(\*2) VoIP (Voice over Internet Protocol)

IP ネットワークを利用した音声通話の技術一般を指す。現在、注目されているインターネット電話は、この技術を応用したもの。

記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

【企業プロフィール】

株式会社ソフトフロント

ソフトフロント(本社:札幌市)は、1997年設立のソフトウェア開発企業です。SIPとVoIPを核技術とし、業界から本分野の核技術の提供企業として注目されています。

コンピュータとネットワークの技術を駆使し、リッチなコミュニケーション環境を提供することを企業理念として、事業を展開しています。

当社は、業界標準プロトコルになりつつあるSIPに早くから注力しており、様々な技術とノウハウを蓄積してまいりました。現在は、これまで培ってきたSIPとVoIPに関する技術やノウハウを多数のメーカーやシステム・インテグレーターに提供し、それらのパートナー企業を通じて当社の技術の普及を図る「SIPパートナープログラム」事業に注力しています。

URL:<http://www.softfront.co.jp/>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

管理本部 広報担当 内海 雅枝

電話(本社広報直通):011-623-1035 FAX:011-623-1002

E-mail:[press@softfront.co.jp](mailto:press@softfront.co.jp)

【SIPパートナープログラムに関するお問い合わせ先】

株式会社ソフトフロント

セールスエンジニアセンター

電話(セールスエンジニアセンター直通):03-5366-2070 FAX:03-5366-2031

E-mail:[sales@softfront.co.jp](mailto:sales@softfront.co.jp)

---